

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/12/06

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.23	-0.03
JPY/THB	0.2394	-0.0001
USD/JPY	147.15	-0.06
EUR/THB	38.02	-0.18
EUR/USD	1.0797	-0.0039
USD/CNH	7.173	0.024
SGD/THB	26.26	-0.09
AUD/THB	23.08	-0.26
USD/INR	83.39	0.02
USD Index	104.05	0.34

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.594	0.000
10Y (THB)	2.966	0.000
5Y (USD)	4.135	-0.072
10Y (USD)	4.165	-0.088

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,018.5	-5.6
WTI (Oil)	72.32	-0.72
Copper	8,334.5	-108.5

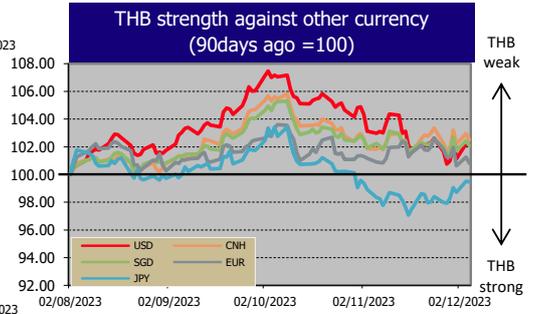
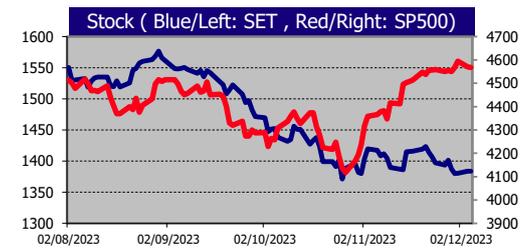
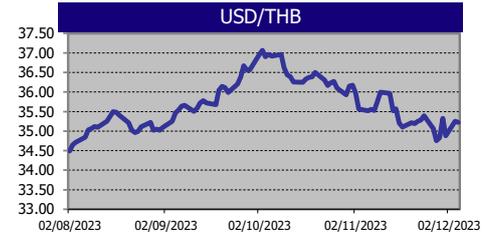
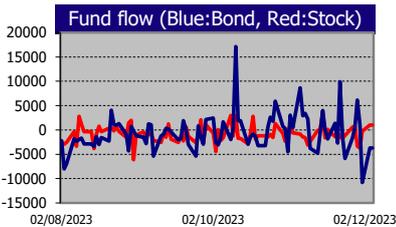
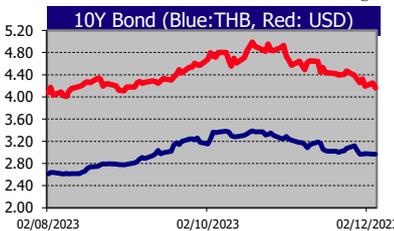
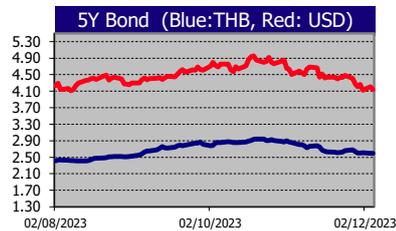
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,383.54	0.00
NIKKEI (JP)	32,775.82	-455.45
DOW (US)	36,124.56	-79.88
S&P500 (US)	4,567.18	-2.60
SHCOMP (CN)	2,972.30	-50.62
DAX(GER)	16,533.11	128.35

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	979	0.0
Bond net flow	(3,702)	0.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

4日のドルパーツは上昇。オンショアオープン前に下落して34パーツ後半で取引を開始。取引開始後はドルの買い戻し優勢で下落前の水準である35パーツ近辺まで戻すと、その後はレンジ推移。海外時間、米金利の上昇を受けてドル買いとなり、ドルパーツは翌日タイ休日を含ながらも、35.25と同日高値圏で引けた。5日のドルパーツはタイ祝日でオンショア市場が休場となる中、35パーツ前半で方向感にかけられる動き。海外時間、米経済指標の強弱で一時的に上下に動きが出るも、35.23と前日比ほぼ変わらずで取引を終えた。

●ドル円その他

4日のドル円は小幅に上昇。146円台後半で取引を開始。実需らしきドル売りが持ち込まれ、仲値公示前に146円台前半と同日安値を付けた後は反発。バンコクの引け間際の時間帯には147円台を出現。その後は146円台半ばまで押し戻されたが、NY時間では先週金曜日の金利低下の反動で債券売りが強まり、米金利が上昇したためにドル円は147.21まで再反発した。5日はわずかに下落。147円台前半で取引を開始すると、日経平均が安寄りして軟調な動きを示したため、ドル円は上値重く、夕刻には146円台後半まで押し下げられた。その後は147円台へと切り返し、予想に届かない米の求人件数と予想を上回ったISM非製造業景況指数によって上下に慌ただしい動きとなったが、147.15と前日終値に近い水準で終えた。

Bangkok Dealer's Eye

来週の中銀ウィーク(13日 FOMC / 14日 ECB, BOE)を控えて、今週は直前のデータを確認する週となっています。予想比弱いデータが増えてきており、市場はどの時期に中央銀行が利下げを開始するかという点に焦点を当てているため局者のタカ派な(足許の動きを牽制する)コメントに対する反応は薄くなっています。そのような中で、昨日は10月の米求人件数が予想比弱かったことで金利低下、金曜日の雇用統計に向けて労働市場の軟化が意識される状況となっています。一方で昨日の為替はドル売りとはなっていません。11月にドル売りが加速した分修正が入ったり一旦もみ合いとなる可能性があると考えており、単純に金利低下がドル売りとなる状況から移行しているように感じています。年末月でもあり、年初来のパフォーマンス差を受けたりバランスにより、各市場で相関が崩れる可能性には注意したいと思えます。(塩谷)